

地元の方に聞きました！ 30歳で田牛にUターン。 本年度若衆頭の菊池さんが語る祭り

話してくれた人：平成30年度田牛若衆頭 菊池宏行さん(45歳)
聞き人：建設課下田まち遺産担当 西川

30歳までサラリーマン生活を送った後、地元に戻り、それから漁師一筋。
菊池さんが祭りを始めたのが田牛に戻ってきてから、というのに驚きです。
取材に伺ったのは笛や太鼓、鉦の練習の真ただ中。厳しさ以上に、
見ているだけで分かる若衆達の仲の良さに心地よさを感じたひとときでした。



祭りへの思いを語ってくれた菊池さん

人手不足解消に他地域からの参加

祭りを始めた動機や現状などをお聞かせください

「地元に戻ってきて、自然と祭りをやりました。20代の頃祭りに参加していなかったといっても、子どもの頃から見ていましたから。現在、若衆は18名。大太鼓、小太鼓、鉦、踊り手、一つのものに一人ではないですからギリギリの人数です。今では地元の若い人間が少なくなり、南伊豆や下田から参加してもらっている人もいます。自分は30代初めに1度頭をやったので、これで2回目です。昔で考えればとくに卒業の年齢ですが、僕の上にもまだ3人います。」



区内にある青少年海の家の中で練習をする若衆

4分強の獅子舞は体力勝負

獅子舞で大事なことや見どころは？

「体力ですね。獅子舞は一回の舞で4分20秒かかります。この間中腰で重い獅子頭を支えるように持って舞う。とても連続で舞うことはできません。神社を走り回る場面がありますが、実はそのときが一番体力的には負担が少ないです。そして神社の前の「宮舞わし」は地元中の注目を浴びるし、別格。見どころは雌獅子と雄獅子が噛み合うところです。格好悪いものは見せられませんので、舞い終えたあとの達成感はそのすごいものがあります。」



太鼓の音に合わせて、笛や小太鼓などの練習

お話を聞いて…

取材前、祭りで大事なことは「チームワーク」や「連携」なのだろうと勝手に想像していました。しかし、田牛の皆さんにとって、「チームワーク」は語るまでもない当然のことなのだ取材を通して気付きました。獅子舞は布を被っていますので演者は見えません。何も知らない観客の目線でみると「体力」という言葉は浮かんでこないのです。そして田牛というコミュニティのあるしっかりとした地域でも人材不足という現実を聞き、次世代につなげていく苦労は想像以上です。

MEMO

獅子は子どもを噛まなかった？

厄払いのために、獅子舞が子どもを噛むのは伝統のように感じますが、昔は神事という意味合いが強く、子どもを噛むような行為はなかったそうです。昭和40年代に一旦獅子舞が中断し、復活した後に行われるようになりました。

地域内の連携が強固な田牛地区。 課題をクリアしながら、 下田まち遺産を未来へ

取材を通じて、田牛の方々の仲の良さも下田まち遺産だと思いました。横と縦のつながりが強く、世代の垣根を越えてみんなが知り合いです。防災訓練など地域の行事もほぼ100%の参加率とのことでした。祭り前は「今年、神社で舞うのは誰？」と話題になるそうです。ただ、そのような中でも獅子舞の舞い方に対する世代間の相違や、若衆の人材不足、などの問題があります。「下田の人たちが大切にしてきたもの」が下田まち遺産の定義の一つですが、これをどのように保持していくのか、が大きな課題だと感じました。

田牛八幡神社例祭日程

宵祭り
9月23日(日)
□15時頃：区長宅前で獅子舞

本祭り
9月24日(月)
□13時頃：田牛区集会場前を出発。
屋台とともに獅子頭を若衆が抱きながら神社へと向かう
□13時45分頃：神社前で獅子舞
□14時10分頃：同じく神社前でおっぴいしゃり
□15時頃：氏子会長前で獅子舞
□19時頃：神社前で獅子舞

※時間は前後する可能性があります
※場所はP9をご参照ください

田牛地区の自然あふれる下田まち遺産群

田牛地区には自然色溢れる下田まち遺産が集約されています。

平成30年4月に世界ジオパークに認定された伊豆半島。

田牛地区は太古から続く自然的な歴史・景観を楽しむことができます。

下田まち遺産 ～田牛編～



田牛サンドスキー場

家族連れで一年中遊べます。風により自然と砂が吹き上げられて作りだされた情景で、周辺環境と併せてジオの息吹を味わいながら一気に滑り降りましょう。



龍宮窟

近年は言わずと知れたパワースポット。階段を下って風穴に降り立った瞬間、洞窟から垣間見る太平洋と、見上げて分かる岩肌の地形に遥かな大地の歴史を感じます。



ハマオモト自生地

下田市では7月に白い花が咲きます。下田市民憲章に「はまゆは、我等の香り、自然を大切に守りましょう」とあり、下田の自然のシンボルの一つです。



青少年海の家

旧小学校の校舎を利用したノスタルジック溢れる施設です。現在はグラビア撮影やロケ撮影にうってつけの場所となっています。



田牛海岸

下田市最南端の海水浴場。漁村ならではの落ち着いた雰囲気最高です。季節によって浜が砂浜から岩場に変化するの楽しみの一つです。